

大竹警察署 交通課だより-1月号-



冬道を安全に運転するために



冬道運転の危険性を正しく理解しましょう！



- ① 発進が難しくなる！ ▶ 「クリーフ現象」でゆっくり発進したあと、徐々に加速
- ② なかなか止まれなくなる！ ▶ タイヤの回転をロックさせないソフトなブレーキングが不可欠
- ③ ハンドルが効かなくなる！ ▶ 緊急時はABS を作動させて、減速しつつハンドル操作で危険を回避
- ④ 車の挙動が急に乱れる！ ▶ ハンドルとブレーキ・アクセルを同時に操作しない
- ⑤ 路面にわだちができる！ ▶ 凹凸の状態をしっかり観察し、逆らうことなく慎重に走行
- ⑥ 運転視界が悪くなる！ ▶ 見通しが悪くても、前のめりにならないよう運転姿勢を保つ

冬道は特にココが危険です！

- ① 交差点とその付近 ▶ 発進と減速の繰り返しで路面が磨かれてツルツルになりやすい…
- ② カーブ ▶ 車体に遠心力が働いてカーブの外側へと横滑りしたり、突然スピンしたりしやすい…
- ③ 坂道 ▶ ゆるやかに見える下り勾配でも、自然加速とスリップにより停止距離が大幅に延びる…
- ④ 吹きさらしの場所 ▶ 吹雪になると視界が極端に悪化し、周囲の状況がほとんど見えなくなる…



◎交通事故発生状況



令和7年12月31日現在

大竹署管内	区分	令和7年	令和6年	前年同期比	
				増減数	増減率
	発生件数	25 件	27 件	-2件	-7.4%
	死者数	1 人	2 人	-1人	-50.0%
	負傷者数	24 人	30 人	-6人	-20.0%

県内	区分	令和7年	令和6年	前年同期比	
				増減数	増減率
	発生件数	4,260 件	4,403 件	-143件	-3.2%
	死者数	58 人	68 人	-10人	-14.7%
	負傷者数	5,052 人	5,236 人	-184人	-3.5%

交通安全年間スローガン「譲り合い ハンドル越しの 思いやり」